



美味しいご飯で上林地区の魅力を再発見 炊き込みご飯パーティー

上林小学校で、地域の米づくり名人が育てたお米を使った調理実習が行われました。炊き込みご飯のほか、芋煮や焼き芋を地域の人から手順を学びながら完成させ、出来立ての料理をみんなで囲み、食事を楽しみました。子どもたちから「鶏肉を切るのが大変でしたが、丁寧に教えてもらって良かったです」という声が聞かれ、地元の味を親しむきっかけとなりました。



家族、地域の人たちとツイストパン&焼き芋づくり 西谷地区で第3回自然体験教室

西谷地区の親子が参加し、パン生地をこねて竹に巻き付けたり、さつま芋をアルミホイルで包んだり、楽しく準備した後、地域の人たちが用意した炭火でそれぞれ焼き上げました。

焼きたてのツイストパンを手にした子どもたちは、パンの美味しさにとても満足そうな表情を浮かべていました。また、じっくり焼かれた焼き芋も、しっかりと味わっていました。



新しい夢や興味のある仕事を見つける シゴトーク開催

北吉井小学校で、仕事について学ぶイベントが開催され、さまざまな職業の人に自分の仕事について話していただきました。参加した子どもたちは、その仕事を選んだ理由や日々の業務内容、職業ごとのやりがいについて真剣な眼差しで聞き入り「多くの人から話を聞いて、自分が楽しめることを仕事にしたいなと思いました」と、将来に向けて新しい夢や興味が芽生えた様子でした。



地域の困りごとを話し合う中で生まれたアイデア まち歩きをして防災マップを作成

包括支援センターが協働し、住民主体で地域の身近な課題について話し合う協議体「助け合い 支え合い とうおん」。この協議体で、地域の防災意識が低いことが課題として挙げられたことから、まち歩きをして独自の防災マップや発災時のタイムラインを作成しました。昨年は町東の上之町で実施、今年は則之内西の保免ニュータウン地区で実施し、協議体でのアイデアをもとに、取組が広がっています。

Interview



保免いきいきサロン
 けいこ
 土井 敬子 さん

保免ニュータウンは高台にあり、急傾斜が危険な地域ですが、古い家屋やヒビの入った塀、老朽化した柱などの危険箇所も見つかりました。実際にまち歩きをしてみないと気付かないことがあることを実感しました。

町東 民生委員
 もとえ
 渡部 元衛 さん

自分が住んでいる地域のことをよく分かっているつもりでしたが、改めていろいろな目線で見てみると、新たな危険箇所の発見がありました。この取組が、他の地域にも広がっていけば良いと思います。



健康づくり推進のために活用します 明治安田生命から寄附金を受贈

明治安田生命保険相互会社は、市と「健康づくり推進に関する連携協定」を締結しており、地域の暮らしや健康をより豊かにするための取組として「地元の元気プロジェクト」を展開しています。この度、会社拠出寄附と従業員による募金を上乗せした寄附金 803,600 円を贈呈いただきました。また、同社が開発した、電話の話し声を聞き取りやすくする機器「サウンドアーチ」を1台寄贈いただきました。

ウェルケア重信でのお楽しみイベント！ モルックで地域の人と交流

ウェルケア重信で、第2回目となるモルック大会が開催されました。今回招かれたのは、志津川 100 年丸の皆さん。勝ち負けよりも楽しむことを優先し、参加者全員が、楽しみながら交流を深めました。対戦後は、いのとんと触れ合い、笑顔溢れる時間を過ごしました。参加者は「みんなでわいわい言って楽しかったです」と話していました。



自分たちが育てたお米は特別に美味しい！ 東谷小学校でもちつき大会

東谷小学校の児童が、5月に田植えをし、9月に収穫したお米でもちつきを行いました。地域の人や保護者、先生と一緒にもちをつき、一つひとつ丸めた後、できたおもちを味わって食べました。

児童は、「杵でもちをつく時に、いい音を鳴らすことができ良かったです」「もちを丸めるのが難しかったので、来年はもっと上手にできるよう頑張りたいです」と話していました。

100 歳のご長寿をお祝い 長寿のお祝いに市長が訪問

加藤市長が、100 歳を迎えられた方に直接お祝いの言葉を伝えるため、名越ミサヲさん（町東：写真左）と遠富幸子さん（田窪：写真右）のご自宅を訪問しました。加藤市長から内閣総理大臣、県知事、市長からの賞状を受け取ったお2人は、笑顔を見せながら、嬉しそうにされていました。

東温市では、今年度 18 人が 100 歳を迎えられます。大変おめでとうございます。



みんなで協力して植えました 川上小学校で人権の花贈呈式

人権擁護委員から川上小学校に、人権の花が贈られました。今年で 19 年目となるこの取組。花を育てることで、生命の大切さや相手への思いやりなど、基本的人権尊重の精神を身につけてもらうことを目的として、市内の学校で実施しています。3 年生の佐伯碧志さんは、「花を持ってきていただきありがとうございました。花を見た人が幸せな気持ちになれるよう、大切に育てます」と感謝の気持ちを伝えました。



「世界糖尿病デー」から「World Diabetes Day」に PHC（株）でブルーライトアップ

11月14日㊦の「World Diabetes Day」に併せて、南方にある PHC(株)敷地内の技術棟でブルーライトアップが実施されました。昨年、糖尿病の呼称案として「ダイアベティス」が提案され、「世界糖尿病デー」から、今年は、「World Diabetes Day」へ名称が変わりました。

ダイアベティスの予防や治療継続の重要性を皆さんと一緒に考えてみませんか。

絵本を通して新たな発見 さくら講座「おとなの絵本の楽しみ」

講師に、絵本専門士の渡部愛さんをお迎えし、最近の絵本は、親子でコミュニケーションがとれるものが増えていることや本のカバーを開けると隠れた絵が現れ、新しい意味が見える仕掛けの紹介がありました。また、『ぐりとぐら』などの定番作品や、恋愛要素のある『ばらいろのかさ』の朗読が、渡部さんの抑揚のある声で行われ、参加者は、懐かしさと新たな発見を楽しむひと時となりました。

